

ひろしま 農林業振興 ニュース

第20号

H15 3/1



財団法人 広島市農林業振興センター
Hiroshima City Agriculture and Forestry Promotion Center

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149
http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

今年も好評 森林公園自然体験定着!

小・中学校を対象に実施している森林公園自然体験活動は、昨年度を上回る1万2千人の申込みがあり、森林環境教育の取り組みとして定着してきました。



“森の中で季節を感じるものを見つけたよ”と大喜びの児童

森を知る、肌で感じる



グリーンアドベンチャー

森を育てる



林業体験 (木をきってみよう)

森で生きる知恵を学ぶ



森の隠れ家づくり

森の恵みを利用する



森のオブジェづくり

昆虫を学ぶ



昆虫の野外観察

昆虫を育てる



昆虫の飼育体験

森林公園では、園内400haの森林や昆虫館などを活用した自然体験活動を推進しています。

子供たちが教室を離れ、自然に触れ合う実体験を通じて豊かな感性とたくましく生きる力を育みます。

◎ 森林整備部森林整備課

(☎899-1005)

多様な担い手の育成

“ひろしま活力農業” 第4期生実地研修順調

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業で、安佐南区沼田町で実地研修に励んでいる、第4期生新田泰彦さん、西尾哲也さんのコマツナ出荷が順調な滑り出しとなっています。昨年4月からの広島市中央市場への出荷量は、年間目標の6万束（1人当り）をはるかに越える勢いで、品質等も高く評価されています。

2人とも4月から農家として自立します。新田さんは「経営を安定させ地域に貢献できるような農業をめざします」、西尾さんは「多くの皆さんに新鮮でおいしい野菜を提供できるよう頑張ります」と語っていました。



コマツナ出荷の作業に励む西尾さん

☎ 振興部指導課構造改善係 (☎845-4347)

個性ある農業の展開



“ひろしまそだち” POP大作戦好評

今、食品に関する消費者（生活者）の関心はかつてないほど高まっています。

“ひろしまそだち” 産品は、安全、健康、おいしさ、新鮮、特産をキーワードに、消費者に喜ばれる商品を届けるため、様々な取り組みを行っています。今年度から、生産者の顔写真、広島弁のPR文を入れた広告を店頭に掲示する「ひろしまそだちPOP大作戦」を始めました。消費者からは、生産者の顔が見え安心して食べられると、大変好評でした。

今後も、「“ひろしまそだち” は信頼のマーク」と全ての消費者に知ってもらうため、さらに産品の情報発信を積極的に進めていきます。



“ひろしまそだち” 野菜をPOPでPR

☎ 振興部指導課農産係 (☎845-4376)

農産物直売所用切り花 6 品目を提案・栽培展示

品揃えの充実は農産物直売所の集客増加の大きな要素です。本センターでは、農家で手軽に生産でき、また消費者の目を楽しませ販売力アップにつながるものとして、いくつかの切り花品目を提案しています。昨年は秋から冬にかけて収穫できるスプレーストック、キンギョソウ、ハボタンなど6品目をセンターほ場で栽培展示し、多くの直売所の皆さんから好評を得ました。

今年も引き続き数種類の切り花の栽培展示を行います。適期をお問い合わせのうえ、ぜひ栽培ほ場にお越しください。

☎ 振興部園芸課 (☎842-4421)



花卉が色鮮やかなスプレーストック



特徴的な花形のキンギョソウ

“金時草”のウィルスフリー化に成功

園芸課では、昨年からは農家で個性派野菜として栽培に取り組んでいる、“^{きんじぞう}金時草”のウィルスフリー苗の開発に成功しました。既存のものより葉が幅広く生育も揃い、今年の春から試験供給に入る予定にしています。オクラのようなぬめりのある食感があり、ポリフェノールを多く含んだ「機能性野菜」として人気が集まりそうです。

☎ 振興部園芸課 (☎842-4421)



既存の苗



ウィルスフリー苗



増殖実験中の苗

生産性の高い農業の確立

ほ場・市民農園整備で住みよい地域にー白木町見張地区ー

見張地区では、農地と住宅地等が共存できるように計画的な土地利用を推進し、いきいきとした農業のある住みよいまちづくりのため、地域をあげて農村活性化住環境整備事業に取り組んでいます。

ほ場整備など農業基盤整備がほぼ完了し、都市農村交流としての市民農園の整備など、美しい農村空間の創出をめざして着々と工事が進められています。

☎ 建設部基盤整備課 (☎845-4348)



工事が進む見張地区 (市民農園整備等)

「農」ある住みよい地域づくりの推進

白木町須沢地区の処理施設完成間近か

白木町須沢地区では、農村部の水洗化等の推進のために平成5年度から整備を進めていた、待望の農業集落排水処理施設が本年度末完成し、4月から地元世帯への供用が開始されます。この地区の完成で、農業集落排水処理施設の稼働は、8か所になります。

☎ 建設部環境整備課 (☎845-4349)



白木町須沢地区農業集落排水処理施設

市民と農業・農業者との交流

市民農園で竹炭シンポジウム開催

三田市民農園で竹炭シンポジウムを開催、市内外から大勢の参加者があり、竹炭の作り方や利用方法などを学びました。

下三田地区の沖本棄夫さん、志路地区の竹下員之さんから手軽なドラム缶を使った作りなどが紹介され、質疑も盛んに行われました。最近では、竹林の繁殖被害が問題となっており、竹炭は資源の活用と地域活性化につながるものと関心が高まっています。

☎ 振興部指導課構造改善係 (☎845-4347)



竹炭の作り方に熱心に聞き入る参加者

みどり意識の啓発

カブトムシの里親 大集合

昆虫館で、カブトムシの幼虫を家庭で育てる「カブトムシの里親」を募集。幼虫の引渡し日には約2百人の家族連れが集まりました。里親は幼虫から成虫、二世誕生と育て、翌年の秋に公園に里帰りするシステム。参加者は、飼育の説明を受け、「アドバイスを参考にしてお大切に育てたい」と張り切っていました。

☎森林公園 (☎899-8241)



飼育のコツを習う



里親に渡されたカブトムシの幼虫

催し物ご案内

森林公園・昆虫館

第14回 もりとぴあひろしま

4月29日(祝)

ツツジ・サツキが咲き誇る森林公園で、みどりの日の記念行事「第14回もりとぴあひろしま」を開催します。ゲームなどイベントが盛りだくさん。記念品プレゼントもあります。



ツツジが満開 (森林公園)



輪投げゲーム

企画展示「オサムシ・ハンミョウ」展

3月1日(土)～12月28日(日)

手塚「治虫」の名前の由来にもなり、甲虫のなかでも人気の高いオサムシや、小型ながら派手な色彩のハンミョウの仲間を標本やパネルなどで紹介します。



色彩鮮やかなコガネオサムシ

特別企画「春のハチミツ祭り」

4月12日(土)～5月5日(祝)

ミツバチがつくりだす様々な蜂蜜(ハチミツ)を紹介します。花の種類で蜜の甘さが変わります。試食も出来ます。いろんなハチミツを味わってください。

☎森林公園 (☎899-8241)

花みどり公園

“花みどり公園は、おかげさまで開園10周年”
2003 春のふれあいシャクナゲ祭り

4月26日(土)～5月5日(祝)

4月下旬から5月上旬にかけて、130品種4,500本のシャクナゲが色鮮やかに咲き誇ります。シャクナゲ苗の無料配布もあります。家族、グループでお越しください。



コンテナガーデニング教室



世界のシャクナゲ満開



シャクナゲ苗の無料配布

☎振興部園芸課 (☎842-4421)